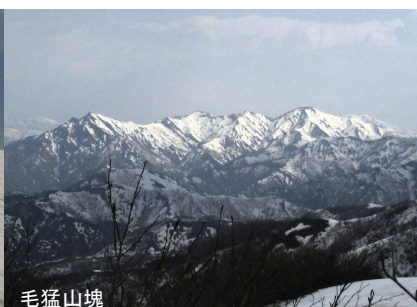


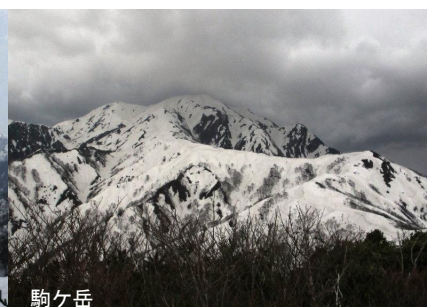
道行山山行記録



道行山へ



毛猛山塊



駒ヶ岳

目的地	道行山 (越後駒ヶ岳撤退)	期 日	平成23年5月8日 (日) : 晴れから曇り
山行人	笠原正雄単独	特 記	晴天から強風、天候悪化で道行山まで。他に入山者なし。

地点名	時刻	記 事
大 湯	5:50	駒ノ湯から登ろうと出掛けたが、R352は大湯温泉を過ぎた所で通行止め、戻ってシルバーラインに行く。ここで早くも気持ちが萎えてしまった。
石 抱 橋	6:40 歩き出し	左岸袂から雪に上がって北又川に沿って歩き出す。駒ヶ岳が良く見えている。
R352 に上がる	6:50	川に沿って進み過ぎて高巻く雪斜面を選定出来ず、戻るのも癪と思い、枝を掴みながら崖を掻き上がる。通行止めの国道は除雪されていて舗装が出ている。すぐに北又川左岸に行く雪の作業道へと左折する。
男 2 人が渡渉	7:25	目的は不明だが、ザックを背負った男 2 人が先行していて、流れに入り部分的に残っている雪に上がりながら対岸へ渡って行った。
柳 沢 出 合	7:35	少し沢の中を進み、左の急登雪斜面を上がる。踏み跡はあるが不鮮明。下りで分かるのだが、出合からすぐに左の尾根を上ったほうが楽に進める。
僅かヤブコギ	7:40	雪斜面が急でトラバース出来ない。尾根上の雪の剥げたヤブを掻き分ける。
夏 道	8:10	喬木を縫いながら雪を登高する。ここで夏道が出ていた。2分後再び雪歩きとなる。この後も所々夏道が現れる。
道 行 山	8:40	尾根が広くなり、こんもりとした丘の先のブッシュが出たピークに上がる。ここまで穏やかだったが、この手前から急に風が出て来た。駒ヶ岳の頂ははっきり見えているが、その上の雲が怪しく、流れが速い。ここまでとする。
毛 猛 を 眺 め る		毛猛山塊と未丈ヶ岳方面に陽が当たっている。ブッシュの風下に身を屈め、350 缶。突風で山が揺れたように思えた。一時雨粒を感じる。
下 山 へ	9:25	ピッケルに持ち替えて下る。標高が下がれば風は弱まる。
柳 沢 出 合	10:00	尾根のまま下る。この後、途中から朝の 2 人の戻り踏み跡があった。
石 抱 橋	10:40	10 分前に R352 に上がり、舗装道を下る。
白 銀 の 湯 入 浴		外は風が強い。入浴中、雷鳴が聞こえ、にわか雨が降って来た。

毎年残雪山の終盤に駒ヶ岳へ出掛けている。こちらのコースは作業道歩きが退屈で、駒ノ湯からのコースが好きだ。それが、通行止めで意欲がそがれてしまった。他に入山者がなかったこともあって、道行山まででもいいかな、と思いながら歩いた。天候急変もあり、そこで戻ってきた。帰路大湯付近から振り返ると、駒ヶ岳は雨雲に覆われた。